

令和2年度 家庭科 2年 年間指導計画・評価計画

< 1 > 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を各学年・各分野において育成することを目指す。

< 2 > 各学年・各分野の目標

1. 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

2. 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。

3. 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

< 3 > 評価の観点及びその趣旨

知識及び技能	生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境などについての基礎的な理解と、それらに関わる技能を身につけている。
思考・判断・表現	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、これからの生活を展望して課題を解決する力をつけている。
主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身につけている。

< 4 > 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。(80%以上)
	B	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	C	努力を要する状況である。(50%未満)

評 定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。(90%以上)
	4	十分満足できる状況である。(80%以上)
	3	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	2	努力を要する状況である。(50%未満)
	1	一層努力を要する状況である。(20%未満)

< 5 > 指導上の配慮事項

- ①実践的、体験的な学習や問題解決的な学習活動の設定
- ②言語活動の充実
- ③ICT 機器の活用
- ④個に応じた指導

章	学習内容	時	主な学習活動	評価の観点		
				知能・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 章 健康と食生活	「食生活」のガイダンス 1 食事の役割を考えよう	1	・食生活は「1 章 健康と食生活」「2 章 何をどれだけ食べたらいいのか」「3 章 調理と食文化」に分かれていることを説明し、「食生活」の単元の見通しをもつ。 ・グループごとに、中学生の平日・休日の食事を見て、意見交換し、クラスで話し合ってみる。 ・教科書 p71 の自立度チェックを行ってみて、意見・感想を言い合う。 ・教科書 p72 の「思い出してみよう」を各自でやってみる。 ・グループで、教科書 p73 の「話し合ってみよう」について意見交換し、食の役割を確認する。 ・こども食堂の資料を読む。	・生活の中で食事が果たす役割について理解している。		
	2 健康によい食習慣について考えよう	2	・教科書 p75 の「考えてみよう」をやってみて、自分の食習慣を振り返る。 ・教科書 p76 の資料（朝食をたべよう）などをみて、悪い食習慣が生活に与える影響（例：生活習慣病）について知る。 ・グループで食習慣すごろくをつくって、工夫した点などを発表し合う。	・中学生に必要な栄養の特徴について理解している。	・健康によい食習慣について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。	・健康によい食習慣について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
2 章 何をどれ	1 栄養素の種類と働きを知ろう	1	・栄養素の種類と特徴について復習し、教科書 p81 の図 1 で確認する。 ・教科書 p80 の「話し合ってみよう」を見て、水の働きを知る。	・栄養素の種類と働きについて理解している。		
	2 中学生に必要な栄養	1	・グループで教科書 p82 の「話し合ってみよう」をやってみて、図 2 ・	・中学生の 1 日に必要な食品の		

だ け た べ た ら よ い か	養の特徴を知ろう		3で中学生の特徴を確認する。 ・体の成長や活発な運動について意見交換し、理解を深める。	種類と概量について理解している。		
	3 食品に含まれる栄養素を調べよう	1	・食品に含まれる栄養素を教科書 p84 の図 4・5 を参考にしながら、知る。 ・6つの基礎食品群について小学校で学習した事項との関係から理解を深める。 ・教科書 p85 の「調べてみよう」を行う。	・食品の栄養的な特質について理解している。		
	4 1日に必要な食品の種類や概量を知ろう	1	・グループで教科書 p86 の「考えてみよう」を行って、バランスのよい食事にするための工夫について話し合ってみる。 ・教科書 p87 の「やってみよう」を予想し、重さを測ってみる。 ・教科書 p88～90 の図 7 をみながら、教科書 p91 の図 8 の1日の献立例を見て、食品の概量について理解する。	・中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。		
	5 1日分の献立を考えよう	3	・1日分の献立を考えるため、教科書 p99 の「考えてみよう」などの意見交換をする。 ・グループで教科書 p101 の「考えてみよう」の2をやってみたあと、3をしてみる。 ・メニューを聞いて、調理実習をする。 ・実習の省察をしたあと、献立を考える。	・1日分の献立作成の方法について理解している。	・中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・中学生の1日分の献立について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
3 章 調	1 食品の選択と購入について考	2	・教科書 p104 の「考えてみよう」をそれぞれ考えて、意見交換してみる。	・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選	・用途に応じた食品の選択について問題	・用途に応じた食品の選択について、課

理 と 食 文 化	えよう		・旬の意味を確認したあと、教科書 p105 以外の見分け方を出し合う。 ・生鮮食品と加工食品の違いや消費期限・賞味期限の意味を知る。 ・食品の表示について、理解する。	扱について理解しているとともに、適切にできる。	を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。	題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	2 購入した食品を適切に保存しよう	1	・教科書 p110 の「調べてみよう」を参考に食品の保存と温度を確認する。 ・食中毒の原因と予防法を知る。	・食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。		
	3 調理の基礎を知ろう	2	・調理の手順や身近な調理器具について確認する。 ・包丁の使い方を知り、いろいろな切り方を理解する。 ・教科書 p116 の「考えてみよう」で、切り方はどんな料理で使われているか、意見交換する。 ・計量・火加減の調節を知り、実際に学校や家でホットケーキを作ってみたりして計量や火加減ができるようにする。 ・調理法の特徴を理解し、盛り付け・配膳の基礎を学ぶ。	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。	・日常の1食分の調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。	・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	4 肉を調理しよう	2	・肉の調理と加熱による変化について理解し、衛生的な取り扱いを知る。 ・肉料理のメニューを聞いて調理実習をする	・肉に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	・肉に適した加熱調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するな	・肉に適した加熱調理の仕方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとして

5	魚を調理しよう	2	・魚の調理と加熱による変化について理解し、衛生的な取り扱いを知る。 ・魚料理のメニューを聞いて調理実習をする。	・魚に適した加熱調理の仕方について理解していると同時に、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	・魚に適した加熱調理の仕方について問題を見いだし、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・魚に適した加熱調理の仕方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている
6	野菜を調理しよう	1	・野菜の調理上の性質について理解する。	・野菜に適した加熱調理の仕方について理解していると同時に、基礎的な日常食の調理が適切にできる	・野菜に適した加熱調理の仕方について問題を見いだし、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・野菜に適した加熱調理の仕方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
7	地域の食文化を知ろう	1	・地域で取れた食材の利用（地産地消）の意義を知る。 ・グループで教科書 p151 の「調べてみよう」をやり、発表する。 ・教科書 p152～153 の図 30 を見	・地域の食文化について理解している。		

	8 和食の調理をしてみよう	1	て、全国各地の郷土料理を確認する。 ・和食の特徴を知り、「だし」と「うま味」を意義を確認する。 ・「だし」を料理との関連性がわかる。 ・和食の調理のレポートを読んで、地域の食材と地域の和食との関連性を理解する。	・地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	・地域の食材を用いた和食の調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・地域の食材を用いた和食の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
1 1 章 私たちの消費生活	「消費生活・環境」のガイダンス 1 買い物をふり返ってみよう	1	・消費生活と環境は「1 章 私たちの消費生活」と「2 章 消費者の権利と責任」に分かれていることを知る。 ・「消費生活・環境」の単元の見通しをもつ。 ・持続可能な社会の実現を確認し、SDGs の 17 の目標を理解する。	・自分の消費行動を振り返り、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。		
		1	・教科書 p241 の「話し合ってみよう」を行い、意見交換し、計画的なお金の管理の重要性を知る。 ・教科書 p242 の「話し合ってみよう」を行い、友だちと比較して、買い物の意思決定のプロセスを確認する。	・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・計画的な金銭管理の必要性について理解している。	・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。 ・計画的な金銭管理について問題を見いだして課題を設定し、解決	・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理について課題の解決に課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・計画的な金銭管理につい

					策を構想している。	て課題の解決に課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。
2	買い物の法律の意味を考えると	2	・教科書 p244 の「考えてみよう」を通して、契約の成立について理解を深める。 ・レシートの意味を問い、未成年者取り消し権について学ぶ。 ・取り消しの方法を知る。	・売買契約の仕組みについて理解している。		
3	いろいろな販売方法や支払い方法を知ろう	2	・教科書 p248 の図 6 を見ながら、いろいろな販売方法について学ぶ。 ・教科書 p250 の「考えてみよう」を行い、図 8 で、支払い方法の種類を確認する。 ・キャッシュレス決済、特に、クレジットカードの仕組みを知る。 ・クレジットカードの長所・短所を理解する。	・購入方法や支払い方法の特徴について理解している。		・購入方法や支払い方法について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。
4	消費者トラブルを防ごう	1	・消費者トラブルを防ぐ方法を知る。 ・教科書 p255 の「調べてみよう」を行い、自分が使っているスマートフォンの契約書・取扱説明書などで理解を深める。 ・悪質商法をロールプレイングでやってみる。 ・教科書 p257 の消費者トラブルの例を読み、他の事例があったら、出し合う。	・消費者被害の背景とその対応について理解している。	・消費者被害への対応について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・消費者被害への対応について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。
5	消費者を支える仕組みを知ろう	1	・消費者を守る法律があることを学ぶ。 ・クーリング・オフの通知書を書い	・消費者被害への対応について理解している。		・消費者被害への対応について、課題の

	う		てみる。 ・消費者トラブルの解決の流れを確認し、相談先を知る。			解決に主体的に取り組もうとしている。
2 章 消 費 者 の 権 利 と 責 任	1 消費者の権利について考えよう	1	・消費者の権利を確認する。 ・教科書 p265 の「考えてみよう」を通して、消費者の権利についての理解を深める。	・消費者の基本的な権利について理解している。	・自立した消費者としての責任ある消費行動について、問題を見いだして課題を設定している。	・消費者の基本的な権利について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。
	2 消費者の責任について考えよう	1	・消費者の責任を確認する。 ・グループで、教科書 p267 の「考えてみよう」を行い、消費者の権利について意見交換する。	・消費者の基本的な責任について理解している。	・自立した消費者としての責任ある消費行動について、問題を見いだして課題を設定している。	・消費者の基本的な責任について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。
	3 消費生活が社会に与える影響を考えよう	1	・エシカル消費の例を見て、消費生活が社会に与える影響について意見を出し合う。 ・「買い物はお金の投票」の意味について知る。 ・グループで、教科書 p271 の「話し合ってみよう」を行い、意見交換する。 ・教科書 p272～273 の記事を読み、感想を発表する。	・自分や家族の消費生活が社会に及ぼす影響について理解している。	・自立した消費者としての責任ある消費行動について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・自分や家族の消費生活が社会に及ぼす影響について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。

	4 環境に及ぼす影響を考えて行動しよう	2	・環境問題について知っていることを発表する。 ・持続可能な社会のために、私たちにできることを挙げる。 ・教科書 p277 の「やってみよう」を行い、クラスの宣言をつくる。	・自分や家族の消費生活が環境に及ぼす影響について理解している。	・自立した消費者としての責任ある消費行動について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・自分や家族の消費生活が環境に及ぼす影響について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、工夫し創造し、実践しようとしている。
--	---------------------	---	---	---	--	---